



地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

シニアと現役による第1回連携強化懇談会を開催

連携強化懇談会で相互の報告と意見交換を行う

- ・シニアクラブから組織拡大の取組みへの支援要請
- ・現役から「村田きょうこ」への支援活動への協力要請

10月22日JAMシニアクラブは第2回三役会議に引き続き本年度第1回の連携強化懇談会を開催した。昨年度はコロナ禍により5月に予定していた懇談会が中止になっており、ちょうど1年ぶりの開催であった。会議には、JAMシニア三役全員と、現役JAMの安河内会長、中井書記長、

川野副書記長、椎木副書記長、木村組織グループ長が出席。シニア組織拡大、政策実現・参選等、等をテーマに報告と意見交換を行った。連携強化懇談会は、新任の木村組織グループ長が進行役となり会議をすすめた。冒頭、両組織を代表して安河内JAM会長と大山JA

関しての要請が述べられた。次に、JAM第23回定期大会(web)の報告を中井JAM書記長、JAMシニア2022年度定期総会書面審議の報告を大野シニア事務局長が行い、両組織の現状と課題についての情報交換を行った。とくにJAMからは参院選「村田きょうこ」の取組み、男女平等参画アクションプラン、JAM書記局の人材育成等の課題についての報告をいただいた。

協議事項のシニア組織拡大では、「組織拡大・1万人会員実現プラン」の方針を簡単に紹介、現役に対する要望や協力要請を行い、活発な意見交換を行なった。政策実現では、現役から「村田きょうこ」支援活動への協力要請とシニアからそれに応える形で「参院選の取り組み方針案」についての説明を行い、現退の連携を深めながら、来期の参院選必勝をめざすことを誓い合った。

第2回三役会議を連携強化懇談会に先立ち対面で久しぶりに開催した。大山会長は冒頭の「久しぶりの対面での会議が出来たことは喜ばしい。現状コロナは落ち着いているが、3ヶ月周期説もあり、第6波への警戒が必要だ」と述べたあと、政治情勢に触れ、「岸田新政権は『分配』や『新しい資本主義』を提唱しているが、本質はアベノミクスの成長戦略の焼き直しに他ならない。防衛費1%枠も無視しようとしている。政権にやりたい放題させないために、現下の総選挙での野党の議席増と来年の参院選での与野党逆転を実現せねばならない」と訴えた。

労働組合を離れて18年、退職し8年過ぎて、島根県の小さな市で暮らしている私にとって、世間の出来事は想定外なことばかりです。

最も想定外なことは、昨年から続く新型コロナウイルス感染症のパンデミックですが、国内では昨年に全国に緊急事態宣言を発し、人との接触を8割削減することを目標に自粛を要請し、感染は一旦鎮静化したものの、その後は行動制限の緩和と感染拡大を繰り返す今日に至っています。

この様な中で、昨年9月に誕生した



主張

菅総理は、緊急事態宣言で縮小した経済の再生を目指してGOTOトラベルを推進しましたが、

閣の支持率が低下し、9月の自民党総裁選挙に菅総理が出馬断念に追い込まれ退陣しました。

10月19日、第49回衆院選が公示されたが、新しい総理による衆議院議員の任期を過ぎての解散・総選挙は、昨年

想定外なこと

山陰シニアクラブ会長 遠藤 渡

人流の増加とともに感染が再拡大しました。菅総理にとつては「想定外なこと」であったかもしれないが、諸外国の先行事例からは「想定内なこと」です。今年八月の東京オリンピックでも同様に人流が増加し、その他の要因も相まって爆発的な第五波の感染拡大となり、迅速な対応ができなかった管内

9月に菅総理が誕生したときには、誰もが思いもしなかった「想定外なこと」です。この総選挙では経済再生、格差是正、政治の信頼回復が問われるが、想定外なもの、格差是正、信頼回復は想定すらできません。そこで政権交代を実現しなければならぬ。私の想定は、今回の総選挙では自公の安定過半数を阻止して与野党伯仲の状態とし、次の国会論議で政権担当できる力があることを国民に示して、来年7月の参議院選挙で参議院の過半数を制した後に、衆議院選挙で政権交代が実現することです。そのためには、野党は、これまでのように離合集散することなく、自公に対抗しうる政治勢力になることを期待します。(10月25日 拜)

会議では「参議院議員選挙の取組み」を中心に論議、12月8日の第1回幹事会に提案する取組み方針案をまとめた。また、12月8日に予定していた地方代表者・全国事務局長合同会議に切り替えることを決定した。

富山定期
総会開催

「連携によって安心できる公助の構築のために活動の強化を」

富山シニアクラブ事務局次長 松長照

2021年10月30日、ポ
ルファートとやまで第22回
定期総会を開催した。富山
県もコロナ感染者が激減し
ているが、来賓挨拶、議事
についてはスリム化し会場
内では検温、手指の消毒、
十分なソーシャルディスタ
ンスを確保するなど、しか
し、ワクチン接種もあり感
染者数が激減しており、県
の指針を参考に状況を見な
がら活動を再開させたい。
また、今年度は選挙の年で

あり衆議院選挙、高岡市議
選には推薦議員への支援を
お願いする。また来年には
参議院選挙があり、「村田き
ょうこ」の当選にむけた活動・
支援をお願いする」と挨拶
があった。

続いて、尾島事務局長か
ら「コロナにより医療の脆
弱さが露見し、富山県にお
いても医療の地域間格差も
存在する。安心して暮らし
ていくためにも、社会保障、
医療、介護など公助の役割



を見直していく必要がある。JAMシニ
アクラブ、退職者連合との連携、推薦議
員の当選、現役世代との意見交換も含め
活動を強化していく必要がある」との2
022年度活動方針が提起され満場一致
で確認された。

第26回参議院「村田きょうこ」必勝決
議では、Webによる本人あいさつを受
け、「自我介绍・やりたい政策」を聞き、
村田きょうこ候補予定者のほのぼのとし
た人柄と確かな政策通であることが参加
者一同で感じとれた。

岐阜定期
総会開催 結成20周年記念総会

岐阜シニアクラブ通信員 傍島征夫

10月31日第21回定期総会をサンワ
大垣会場において開催した。

新型コロナウイルスが未だに終息しな
い中、感染予防対策として参加者全員マ
スクを着用して、会場入り口での手指消
毒、会場では社会的距離を確保し椅子を
設置しながら換気、除菌等、安全を確保
して安心して総会が開催できるよう配慮
しました。

はじめに北村会長の挨拶があり、本来
ですとJAM岐阜シニアクラブが発足し
て20年を迎えるにあたり盛大な記念の催
しを開催する予定でしたが、コロナが未
だに終息しない上、会食なしの記念大会
になったことに会員の皆様にご理解をい
ただきたいと伝えられたあと、一部の企
業において「不当労働行為」が生じている
上、この問題を解決するには現役組合は
無論のこと我々OB会としてもご支援ご
協力を賜りたいと述べた。また13年間会
長職として今日まで勤め出来たのも、

JAMシニア本部役員の皆様や、岐阜退職
者連合会員並びに岐阜シニアクラブ会員の
ご支援ご協力の賜物であり、この場を借り
て厚く御礼申し上げます。

その後総会では事務局より2021年
度活動報告、決算報告並びに2022年度
運動方針案、2022年度事業、予算案等
報告されすべての報告・議案は満場一致で
承認されました。

また、今年度は役員改選の年度であった
ため、事前に選挙委員会において会長と事
務局長職は承認を得ている上、他の役員は
再任の承認がされました。

引き続き、永年会長として努められて
きた北村務さんにはJAM本部大山会長を
代行して長澤新会長より功労賞が授与され、
事務局長を務められた中島勲さんにはJAM
岐阜シニアより感謝状が贈られ参加者全
員で拍手にて祝福の意を表しました。



千葉定期
総会開催

「コロナ対策を講じて、可能な活動を」

千葉シニアクラブ通信員 櫻家信

2022年度定期総会が10月12日ホテル「ポートプラザ
ちば」で開催されました。前回は「コロナ禍のため、書面審
査でしたが、今回は代議員参加の2年ぶりの定期総会とな
りました。

コロナの新規感染者数は10月11日時点で東京49人(千葉25
人)今年の最小と報じられていました。参加人数は来賓を
含めて総勢38名(人数は少し抑えた)で開催されました。

大会の内容は「コロナの感染者は減少傾向ではあるが、
コロナ収束のめどが立たない現状で、活動も制約されてい
るがコロナ対策を講じて、可能な活動を広げていく」こと
が全会一致で承認されました。

今大会で、長岡功会長、大淵輝夫副会長、田中久弥 事
務局長、畑山和宏顧問、鶴沢昌一幹事が新任となりました。
来賓の皆様、激励のあいさつありがとうございました。
JAM千葉シニアクラブの活動がスタートしました。皆様
の支援よろしくお願い致します。

